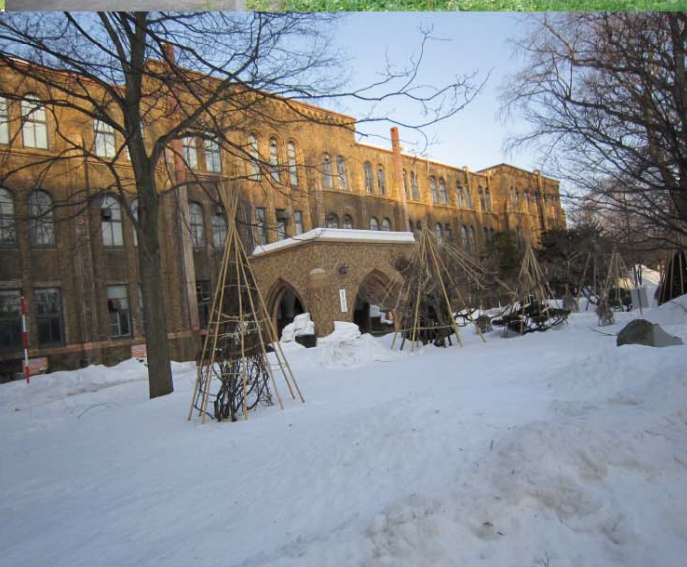


2011年度 北大生協

環境報告書



美しいキャンパスと共に歩んで

北海道大学生生活協同組合

目次

1. 専務理事あいさつ	03	2) 事業改善への取り組み	
2. 北大生協環境活動概要		◇省エネルギー・省資源	12
◇事業概要	04	・電気使用量	
◇環境実施体制	05	・ガス使用量	
・環境実施体制		・ガソリン・軽油・重油使用量	
・2011年度の委員会活動		・レジ袋使用量	
3. 2011年度のまとめ（自己評価と課題）		・紙資源回収量	
◇組合員・社会に向けた取り組み	06	・水道使用量	
◇事業改善の取り組み	07	◇資源の循環利用	14
◇北海道大学との協力	08	・ごみの分別状況	
◇次年度に向けて	09	・食堂廃油のBDF化	
4. 詳細報告		・ビン・缶・ペットボトルの再資源化	
1) 組合員との環境活動		・産業廃棄物	
◇環境配慮への啓蒙活動	10	・使用済みトナーカートリッジ回収	
・機関誌		・国産間伐材割り箸の使用	
・大学祭でのごみナビゲーション		◇環境保全	17
		・食堂排水の管理	
		・グリーン適合商品の優先供給	
		・不要・放置自転車の回収	
		5. 組合員・地域の方へ	19

北大生協環境方針（2005年10月理事会にて策定、2011年委員会・理事会で今後も維持することを確認）

私たち北海道大学生協同組合は、「環境保全は私たちの行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的且つ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防を図り、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

1. 北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた事項を遵守します。
2. 北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を応援します。
3. 生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
4. 環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の取り組みを推進します。
5. 学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

専務理事挨拶

—2011年度 環境配慮へのとりくみ紹介—

2005年度から行っております「環境配慮へのとりくみ紹介」を今年も作成いたしました。2007年度より「北大生協 環境報告書」として作成しております。



北海道大学では、持続可能な社会の実現に向けた“サステナビリティ・ウィーク”の開催を例年行っており、より良い未来に向けた一步を探ることとしています。

北大生協は、2005年9月に北海道大学の環境方針が定められたことを受けまして、2005年10月に北海道大学の環境方針に沿い環境負荷の低減と環境保全に努めるために「北大生協環境方針」を決定しました。さらに「環境保全は私たちが行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定してまいりました。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めています。

この間の取り組みをご紹介しますと、2006年度から行っている①道内産の森林育成につながる割り箸の採用(06年10月から)②食堂から出る廃油の再資源化(06年11月から)③大学内の放置自転車の再資源化(06年11月から)④北大女性研究者支援室に協力したトナー・インクカートリッジの回収(07年9月から)⑤食堂を中心としたごみ分別強化(07年10月から)⑥レジ袋の削減と水道等の使用実績の削減に向けた取り組み(09年)などを行っています。また大学祭では大学祭実行委員会とも連携して学生によるごみ分別ナビゲーション活動を行ったり、学部事務と連携して大学内の放置自転車の再資源化の取り組みを行っています。放置自転車は今年1年間で711台回収を行いました。学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらう活動や大学部局との連携により放置自転車の減少につながる活動を行っています。

今後は、理事会のもとに設置した環境課題推進委員会で、2011年度の取り組みを踏まえて、引き続き環境課題に取り組んでまいります。

毎年、確実に一步・一步前進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導をお願いします。

2012年5月1日
専務理事 中村 伸司

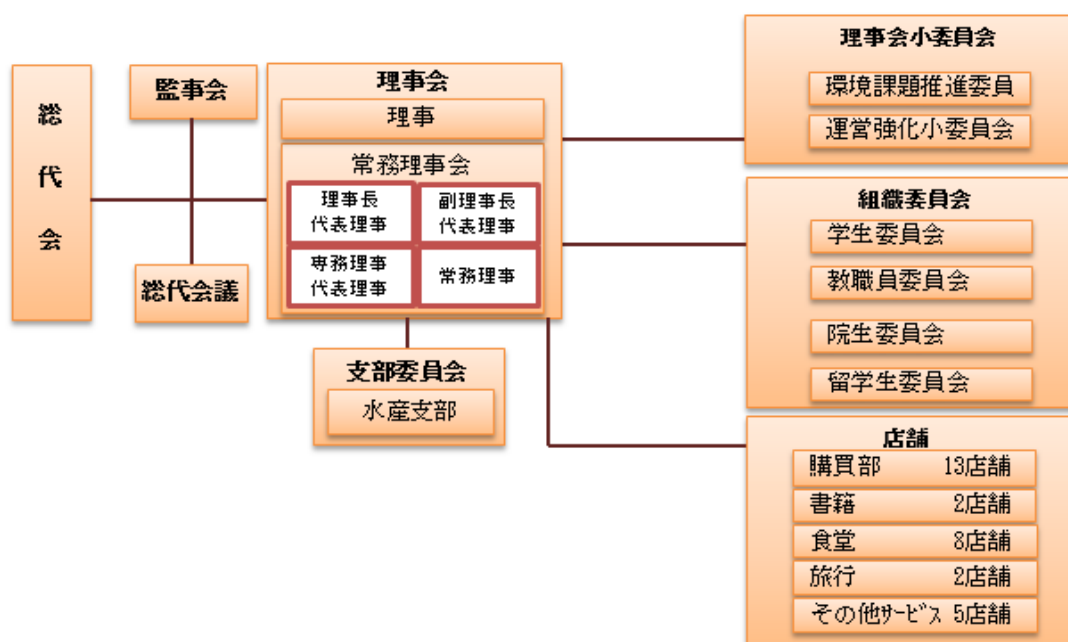
北大生協環境活動概要

◇ 事業概要

《事業規模》

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
組合員数（人）	29,610	29,812	29,904	29,544	29,728	
出資金総額（千円）	454,560	455,110	450,207	439,108	443,673	
供給総額（千円）	6,342,700	6,245,410	5,854,262	5,677,527	5,314,442	
内訳	購買部	2,573,305	2,735,554	2,474,952	2,348,509	2,226,155
	書籍部	966,893	930,607	924,317	860,133	783,764
	食堂部	792,891	1,019,284	805,011	821,133	831,616
	旅行部	1,684,456	1,202,969	1,372,580	1,375,614	1,248,347
	その他サービス	325,155	356,996	277,402	272,158	224,560
経常剰余（千円）	24,897	26,241	40,918	35,745	29,207	
正規職員数（人）	61	58	51	52	51	
非正規職員数（人：正規換算）	208	218	221	221	218	

《2011年度運営組織図》



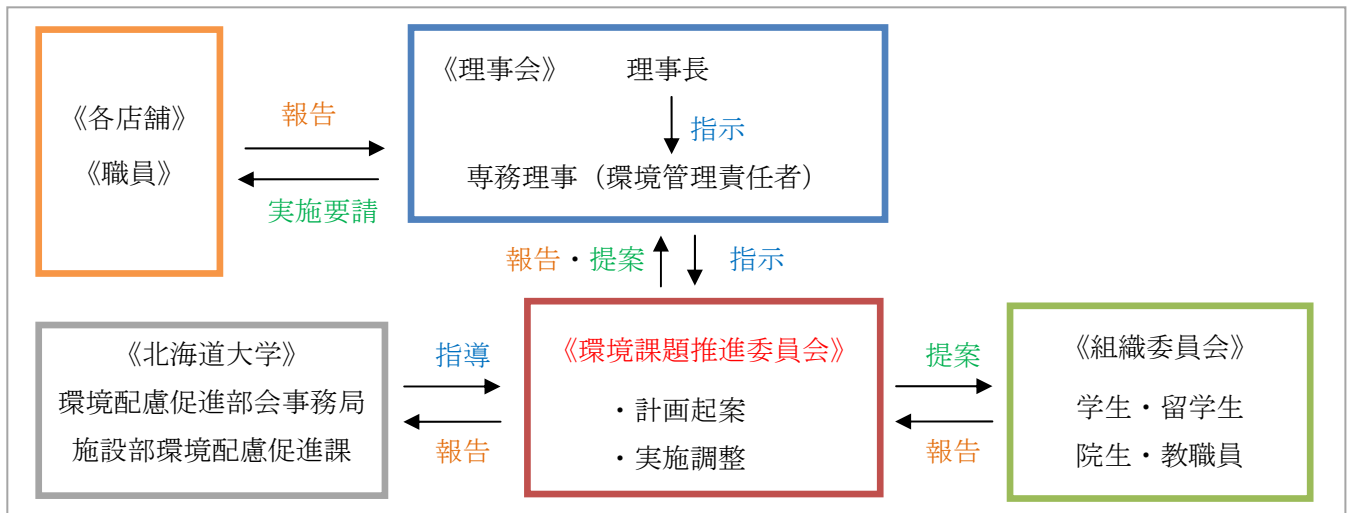
理事会小委員会は、北大生協の各組織を横断して、学生・院生・教職員・生協職員が参画しながら特定の課題を推進するために設置されます。理事会の下部組織であり、各年度当初の総代会で設置が承認されます。

環境課題推進委員会は2008年度より毎年設置承認され、常任のメンバーとして各組織委員会の委員や理事会室職員が参加しています。また、議題によっては各店舗の店長や監事ともオブザーバーとして意見交換しながら、北大生協として取り組むべき環境課題について提言を進めてきています。

◇ 環境実施体制

■ 環境実施体制

北大生協環境課題推進委員会は、理事会の指示の下で各店舗や組織委員会に対して環境対策の諸提案を行います。また、北大生協の環境活動について北海道大学に報告し、指導を受ける窓口となっています。北海道大学内外のサークル・研究室等からの協力要請に対して、理事会に諮りながら協力・支援をしています。



■ 2011年度の委員会活動

《メンバー》

委員長 小倉（学部生）

委員 大村・井上・中川・早川（以上学部生）、蒲山・藤部・萩野（以上院生）、坂爪（教員）

事務局 片木・大内（以上理事会室職員）

《委員会としての主な活動》

- ・ 7月16日に第1回環境課題推進委員会を開催。その後ほぼ毎月総計10回の委員会を開催しました。
- ・ 8月18日に環境委員5名で「クールビズ実態見学会」を行いました。購買・食堂・書籍など各生協店舗10か所で、実際にどのようなクールビズを行っているか、職員に直接聞いて回りました。また、今年度は「節電」が重視されていたこともあり、生協店舗での節電状況も確認しました。
- ・ 環境委員1名が、食堂で使用している割箸の生産地である下川町を訪問し、下川製箸株式会社や町有林を見学しました。その様子を委員会内で共有しました。（p.16参照）
- ・ 10月22日～23日に滋賀県立大学にて開催された、全国大学生協連主催の「環境セミナー2011」に理事会室職員1名を派遣しました。分科会で環境報告書の作成について発表を行いました。
- ・ 9～12月にかけて、放置自転車削減を目指して、今まで使用していた「放置自転車回収についてのポスター」を今一度見直し、改訂版を作成・掲示しました。また、自転車の回収・保管の手続きのやり方について、改善点を探すためにアンケートを作成し、現在実施中です。
- ・ 北大生協環境方針に基づいて、2005年からの活動を総括し、今後もこの方針を維持していくことを確認しました。
- ・ 2011年度環境報告書を作成しました。

2011年度のまとめ（自己評価と課題）

◇ 組員・社会に向けた取り組み（北海道大学環境報告書の「社会への貢献」に対応）

環境項目	2011年度の環境目標	取り組み・成果
情報公開	・2011年度の環境課題・目標を作成し、次年度の総代会で取り組み報告を「2011年度環境報告書」として公開します。	・2011年度環境報告書公開（Web サイト）
	・引き続き大学との協力関係を築いていきます。 ・北大内の環境に関心のある団体と連絡を取り合い交流をしていきます。	・堆肥化プロジェクトへの協力 ・環境セミナー分科会にて、北大生協環境報告書について発表
地域貢献	・機関誌やWebサイトを通じて、環境への取り組みを知らせていきます。 ・組員と一緒に環境について学習できる機会を増やします。	・ごみナビゲーション実施(p.10) ・機関誌きぼうの虹（第334号p.2）

※「環境項目」は北海道大学環境報告書に対応しています。

■ 自己評価

- ①情報公開（環境課題・目標の作成・環境報告書公開） _____ △
 ②地域貢献（北海道大学及び諸団体との協力・交流） _____ ○
 ③地域貢献（取り組み広報、組員との学び） _____ ○ →p.10

（昨年度の達成度との比較 ◎=より改善 ○=同程度の達成 △=届かず ×=実績なし）

情報公開では、例年通り委員会内で決めた環境課題と目標について、環境報告書を作成することができました。当初の予定では上期末と年度末の2回報告書の作成を行う予定でしたが、データの整理に時間がかかったことから上期報告書としての作成は見送り、年度末に1度の作成になりました。また、本委員会の活動が浸透し各データの数値が安定してきていること、理事会からも年1度の報告で問題がない旨の意見があったことを踏まえ、次年度からはデータのまとめ方を変える予定です（「次年度に向けて」に記載）。

環境科学院の学生が行っている「生ごみ堆肥化プロジェクト」については、昨年度から継続して生ごみの提供という形で協力しています。昨年度と比較して、プロジェクトの規模が大きくなったため、生ごみの提供店舗数が1店舗から4店舗に拡大しました。また、北大祭でのごみナビゲーションも例年通り行うことができました。

また、北大生協環境方針が策定されてから6年が経過し、北大生協を取り巻く状況も当時と比較して大きく変化してきているため、北大生協の環境活動を一度振り返りました。総括の結果、今後も現在の北大生協環境方針を維持することを委員会・理事会で確認しました。

◇ **事業改善の取り組み**（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

環境項目	2011年度の環境目標	取り組み・成果
省エネルギー	・今年も全店でクールビズに取り組みます。 ・エネルギー使用量削減を生協職員に呼びかけます。	・クールビズ実施 ・各店舗で節電状況を確認
省資源	・引き続きレジ袋使用率を計測し、昨年度の使用率の現状維持に努めます。	・レジ袋は目標値を達成
資源の循環利用	・ごみのリサイクル率に注目し、全体の資源化の比率を上げていきます。 ・必要に応じて、各店長と削減のための方策について話し合う機会を設けます。	・ごみの分別率がやや低下

■ **自己評価**

①省エネルギー（クールビズ、エネルギー使用量削減）	————	◎	→p.12
②省資源（レジ袋、紙類の節減）	————	○	→p.13
③資源の循環利用（ごみの再資源化、トナー回収）	————	△	→p.14

省エネルギーについては、昨年度の取り組み継続とともに、節電も積極的に行ったため、全体としての使用量は前年度よりも抑えることができました。クールビズや節電に関しては、店舗での取り組みの様子を委員会のメンバーが確認するなどをして徹底を図りました。

資源の節減については、レジ袋の削減が、例年通りかやや改善されています(レジ袋目標値：中央店・会館1階は25%、その他の店舗は10%)。一方で資源の循環利用の柱であるごみの分別については、分別率がやや低下しています。分別開始時と比較して分別の意識が下がっていることが考えられ、前年度では常に70%から80%近い分別率を維持していたこともあり、今一度分別を見直し、75%～80%を維持できるように提案していきます。

～節電の実施状況～

節電の具体的な取り組みとしては、各店舗で照明のON/OFFをこまめにして無駄な照明の利用を少なくしたことや、冷房の設定温度を上げたことがあります。また、購買ではコールドケースと自動販売機の照明を落とし、書籍では看板の照明を、食堂でもショーケースと一部通路の照明を落とすなど、組合員からの理解を得ながら各店舗でできる節電を行いました。

◇ 北海道大学との協力（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

環境項目	2011年度の環境目標	取り組み・成果
グリーン購入法	・グリーン購入法の知識を深めるための学習会をします。	・サステナビリティウィークでのグリーン購入に関する講演会に委員1名が参加
環境保全	・引き続き、日常管理を強めて、排水浄化に努めます。	・水質検査（年1回）実施 ・日常清掃を強化
	・学内に自転車を放置しないよう組合員に呼びかけるとともに、大学部局との連携を密にして放置自転車の減少に努めます。	・引き取り依頼7部局564台 ・持ち込み147台 ・ポスターの改善・掲示 ・アンケートの作成・実施

■ 自己評価

- | | | | |
|----------------------|-------|---|-------|
| ①グリーン購入の推進（商品選定、学習会） | _____ | ○ | →p.17 |
| ②環境保全（排水の水質浄化） | _____ | ○ | →p.17 |
| ③環境保全（放置自転車・不要自転車回収） | _____ | ○ | →p.18 |

グリーン購入は、北海道大学が主催したサステナビリティウィーク中に行われた講演会に委員1名が参加し、委員会内で参加報告をしたものの、その内容を活かすことまではできませんでした。水質浄化については、1日2回行っている店舗ごとの清掃について、各店舗とも排水の改善に努めています。

放置自転車に関する取り組みでは、今まで掲示していたポスターを再度見直し、よりわかりやすくなるよう改善・掲示を行いました。また、毎月の委員会での放置自転車回収状況の確認、自転車の回収・保管の手続きのやり方について、改善点を探すためにアンケートの作成・実施を行いました。放置自転車の台数が増加し、持ちこみの台数が減少していますが、ポスターの改善やアンケートを実施したばかりなので、今後は様子を見て、対策を考えていきます。

◇ 次年度に向けて…

2011年度の実績から、次年度北大生協で目指すこと、そのために本委員会で行うことを提案します。

① 組合員・社会に向けた取り組み

北大生協では、今年度までの成果を維持することを前提とし、情報公開については年度末に一度、環境報告書の総代会配布・Webサイト上で公開することとします。また、環境に関心のある団体との環境活動における協同・協働を進めます。

委員会では、毎月のデータを翌月の委員会でまとめ、問題点・改善点などあればその都度分析し、必要に応じて対策を考えていきます。その後、毎月のまとめを元に次年度の環境報告書を作成します。また、現在協力を行っている団体と引き続き交流をしていき、その他にも環境に関心のある団体と北大生協の交流を推進していきます。

② 事業改善の取り組み

北大生協では、引き続きごみの分別など事業改善の取り組みを行っていきます。クールビズ・節電に関しても、大学の取り組みと合わせて継続して行っていきます。

委員会では、2011年度環境報告書より、次年度はごみの分別について注目し、改善に向けて重点的に対策を提案していきます。毎月まとめるデータ内で問題点があれば、委員会内で解決策を出し合い、各店舗へ提案していきます。また、必要に応じて店長にオブザーバーとして委員会に参加を求め、問題点について原因の究明と解決策を話し合います。その他のデータに関しては現状維持に努めつつ、大幅に昨年度の水準を下回るものがあれば、その都度話し合い、提案していきます。

③ 北海道大学との協力

北大生協では、水質浄化について、引き続き排水の浄化に向けて、店舗での努力を続けます。また、店舗と相談しながら、日常清掃の強化等も継続していきます。また、放置自転車の回収についても、引き続き大学部局と連携して放置自転車数の減少に努めます。

委員会では、8月に出る水質検査の結果を確認します。また、自転車については、放置する前に組合員から店舗に不要自転車を持ち込んでもらえるよう、広報を推進します。アンケートは継続して実施していきます。

組合員との環境活動

◇ 環境配慮への啓蒙活動

事業系の環境負荷低減に加えて、組合員向けに環境問題への意識付けを目的とした活動を行いました。

■ 機関誌

教職員院生版機関誌「きぼうの虹」に、サステイナビリティ学教育研究センター博士研究員の田中さんから寄稿をいただきました。第334号に「持続的社会の担い手を育てる」と題して、同センターが提供している副専攻コースについての記事が載っています。記事では、持続社会構築環境リーダー育成コースの「実践環境リーダーシップ論」や「環境政策論」、「環境倫理」などの科目について紹介されています。



■ 大学祭でのごみナビゲーション

6月上旬に大学構内で開催された大学祭で、ごみの分別を呼びかける活動「ごみナビゲーション」を行いました。この活動は2002年に始まり、今年で10年目となりました。2007年からは榎陵祭事務局とも協力、連携をし始め、大学祭全体で来場者へごみ分別を呼びかける活動を行っています。

今年は、リ・リパックの使用が中止になったり、割り箸ととがったもの（竹串やフォーク、ストローなど）が一緒に回収されたりと昨年と分別方法が変わったので、その影響が心配されましたが、とくに大きな問題も起こらず、ごみを捨てに来た方々は皆協力的でごみ分別を意識しているようでした。

また、分別や環境問題に興味をもってもらうため、環境クイズや環境問題に関する街頭調査（アンケート）を行ったり、「環境戦隊ごみナビジャー」に扮してヒーローショーを行ったりしました。大学祭に来場した多くの人に参加していただきました。



↑ごみナビの様子



↑ごみナビの様子2

《概要》

実施日時：2011年6月2日（木）～5日（日）

環境クイズ、街頭調査：高等教育推進機構前、メインストリート

ごみナビジャーショー：工学部北側駐車場で開催

スタッフ人数：学生委員約30人

榎陵祭事務局+各出店からのスタッフ約300人



↑環境クイズの様子

《参加者数》

環境クイズ：約 100 人

街頭調査：約 100 人

ごみナビジャーショー：2 日間延べ約 200 人

《街頭調査の結果》

やり方：該当する方にシールを貼ってもらう形

1. 意識して分別していますか？

Yes→81 枚 No→17 枚

2. エコバッグを持ち歩いていますか？

Yes→53 枚 No→49 枚

3. 地球温暖化を信じていますか？

Yes→60 枚 No→34 枚 どちらでもない→6 枚

地球温暖化をそもそも知らない→2 枚



↑ごみナビジャーとゆかいな仲間たち



↑街頭調査の様子

事業改善への取り組み

◇ 省エネルギー・省資源

■ 電気使用量

店舗名	10年度	11年度	前年度比
会館店	484,176	450,516	93.0%
北部店	323,698	296,201	91.5%
工学部店	185,675	197,963	106.6%
中央店	261,570	246,214	94.1%
薬学部店	19,912	19,992	100.4%
保健学科店	24,711	22,305	90.3%
獣医学部店	24,505	22,124	90.3%
学生寮店	5,350	4,553	85.1%
クラーク会館	182,688	168,572	92.3%
農学部店	54,762	51,980	94.9%
医学部店	124,372	90,724	72.9%
ポプラ店	53,627	55,615	103.7%
その他自販機	154,874	116,616	75.3%
合計(kWh)	1,899,920	1,743,375	91.8%

※各店舗の電気使用量は各エリアの自販機を含む。

電気使用量は前年度と比較して、ポプラ店・工学部店・薬学部店以外は全店舗で減少しています。増加した店舗でも大幅な増加は見られません。今年度は東日本大震災を受けて節電を意識したため、減少したと考えられます。

今年度も昨年度に引き続き、6月～9月にかけて大学に合わせて全店でクールビズに取り組みました。8月には環境委員会が各店舗に出向き、電力の使用状況を調査しました。各店舗における冷房やエアカーテンの利用状況を確認し、冷房のこまめな温度調整をするための温度計の設置状況を店舗ごとに確認しました。また、あわせて節電の状況を調査し、各店舗とも飲料ケースの電気を消すなどの工夫をしていることを確認しました。組合員から不満の声はなかったため、今回の節電レベルを継続していくことを提案していきます。

■ ガス使用量

	10年度	11年度	前年度比
北部食堂	111,291	107,480	96.6%
工学部食堂	26,584	25,879	97.3%
中央食堂	48,282	49,944	103.4%
クラーク食堂	37,269	38,062	102.1%
農学部食堂	5,138	4,939	96.1%
医学部食堂	20,529	19,367	94.3%
ポプラ店	7,074	6,696	94.7%
合計(m ³)	256,167	252,367	98.5%

中央食堂とクラーク食堂で微増となり、合計は減少しています。客数は前年と比較して、保健・獣医・農学・医学・水産以外は微増、全客数は3%と微増であることより、ガスの使用量は客数に比して減少しているといえます。

※ガスは各店ごと北ガスと北大から供給を受け、表はその合計です。

■ ガソリン・軽油・重油使用量

	10年度	11年度	前年度比
ガソリン (ℓ)	9,535	9,389	98.5%
軽油 (ℓ)	1,630	1,703	104.5%
重油 (ℓ)	19,000	20,000	105.3%

ガソリンは軽自動車、軽油はワゴン車、重油は会館店の暖房に使用されています。

ガソリンについては、1台あたりの使用量が298.0ℓから268.3ℓに減少しています。軽油については、ワゴン車の台数に変化がないので1台あたりの使用量が増加しています。重油使用量が増加しているのは、昨年より気温の低い日が多かったためと考えられます。

台数	10年度	11年度	前年度比
軽自動車 (台)	32	35	3
ワゴン車 (台)	3	3	0

■ レジ袋使用量

購買店舗名	10年枚数	11年枚数	10年使用率	11年使用率
会館店1階	54,602	67,997	22.7%	25.1%
北部店	20,693	31,286	6.7%	10.0%
工学部店	19,973	25,707	4.8%	5.7%
中央店	66,843	72,583	23.0%	24.5%
薬学部店	4,371	10,200	4.4%	10.3%
保健学科店	3,446		4.0%	
獣医学部店	1,481	3,654	2.1%	5.5%
水産店	7,000	2,000	11.3%	3.6%
農学部店	3,976	7,000	5.3%	9.8%
医学部店	3,960	10,900	4.2%	12.4%
ポプラ店	1,616	2,572	2.6%	3.9%
合計(枚)	187,961	233,899	10.4%	12.6%
合計(枚) ※保健を除く	184,515		10.8%	

※保健学科店はレジ袋の集計ができず、実績0となっています。

北大生協では2007年10月からレジ袋削減に取り組んでいます。今年度の使用率を見ると、昨年度からの目標である「(観光客等の利用が多い)中央店・会館1階は25%、その他の店舗は10%」はおおよそ達成されています。

しかし、使用枚数自体は、増加している店舗が多いので、引き続き組合員への呼びかけを続け、全店舗の目標達成を維持していきます。

■ 紙資源回収量

古紙類	10年度	11年度	前年度比
会館店	34.70	33.24	95.8%
北部店	15.70	14.21	90.5%
工学部店	13.90	12.52	90.1%
中央店	14.70	13.17	89.6%
農学部店	1.91	2.71	141.9%
医学部店	0.53	3.74	705.7%
印刷情報	7.47	5.77	77.2%
計(t)	88.91	85.36	96.0%

※医学部は2010年度の10月から回収を開始したため、前年度比が増加しています。

古紙回収は大学全体で紙類節減を呼び掛けている影響で、総回収量は減少しています。生協では、不要になった古紙(書類・新聞・雑誌・段ボールなど)を組合員の方が入れられるように各店舗に回収BOXを設置し、紙の再資源化を行っています。回収率は、医学部・農学部で上昇し、その他は昨年より低下しました。

■ 水道使用量

	10年度	11年度	前年度比
北部食堂	8,854	8,368	94.5%
中央食堂	6,996	6,916	98.9%
工学部食堂		2,604	
医学部食堂	2,201	1,907	86.6%
農学部食堂	711	646	90.9%
クラーク食堂	3,200	3,037	94.9%
エルムカフェ	213	290	136.2%
会館店	781	805	103.1%
合計(m ³)	22,956	24,573	107.0%
合計(m ³) 工学部除く		21,969	95.7%

※工学部は10年度データなし

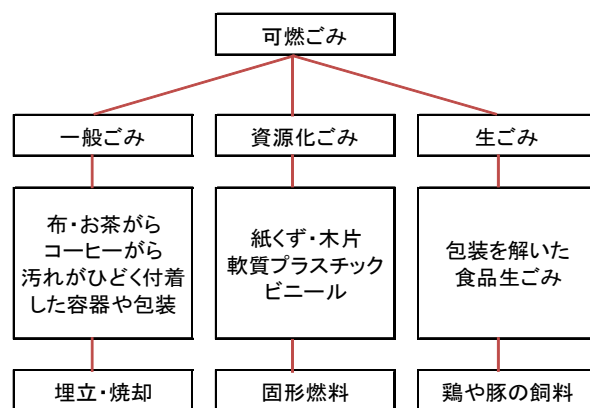
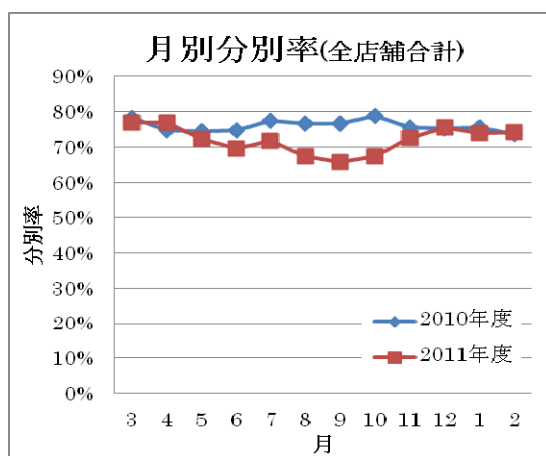
エルムカフェと会館店は増加しましたが、それ以外の店舗はすべて減少しました。昨年度との比較は、工学部が今年度から集計を始めたため、その分を除くと全体でマイナスになりました。

◇ 資源の循環利用

■ ごみの分別状況

北大生協では2008年6月より一般ごみに含まれていた生ごみの分別を始めました。売れ残ったお弁当などを資源化ごみと生ごみに分別しています。

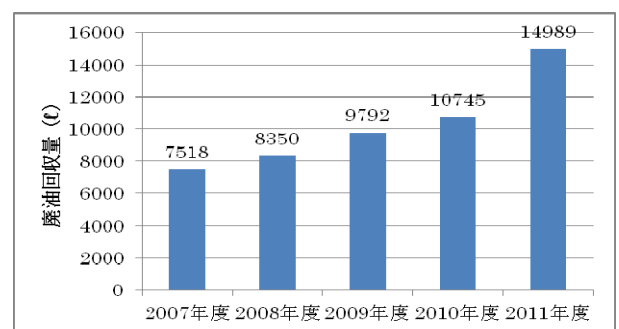
分別率は、2010年度と比較すると、月別、年度別ともに、大きな変化はありませんが、やや低下傾向にあります。月別では5月から徐々に下がり、8~10月にかけて70%を切りますが、11月以降は再び例年並みになっています。年度別の分別内訳を分析すると、2011年度は前年度と比較して、ごみの総計に大きな変化はないにもかかわらず、生ごみ・資源化ごみが減少し、一般ごみが増加していることがわかります。店舗別に見ても、会館・クラーク店以外、分別率の合計は低下しているため、分別開始時に比べて分別の意識が下がっていることが考えられます。



	一般ごみ		生ごみ		資源化ゴミ		ごみ総計		分別率	
	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年
会館・クラーク	30.04	20.66	15.32	14.56	284.00	233.52	329.36	268.74	90.88%	92.31%
医学部D	43.40	39.98	7.22	6.44			50.62	46.42		
北部	33.94	46.74	29.24	26.54	105.60	144.19	168.78	217.47	79.89%	78.51%
中央	34.42	49.88	22.82	17.68	140.00	135.24	197.24	202.80	82.55%	75.40%
工学	42.82	57.84	18.06	17.56	68.64	53.24	129.52	128.64	66.94%	55.04%
農学	20.64	24.52	3.18	3.08			23.82	27.60		
ポプラ	15.98	15.26	5.46	5.08			21.44	20.34		
合計(m3)	221.24	254.88	101.30	90.94	598.24	566.19	920.78	912.01	75.97%	72.05%

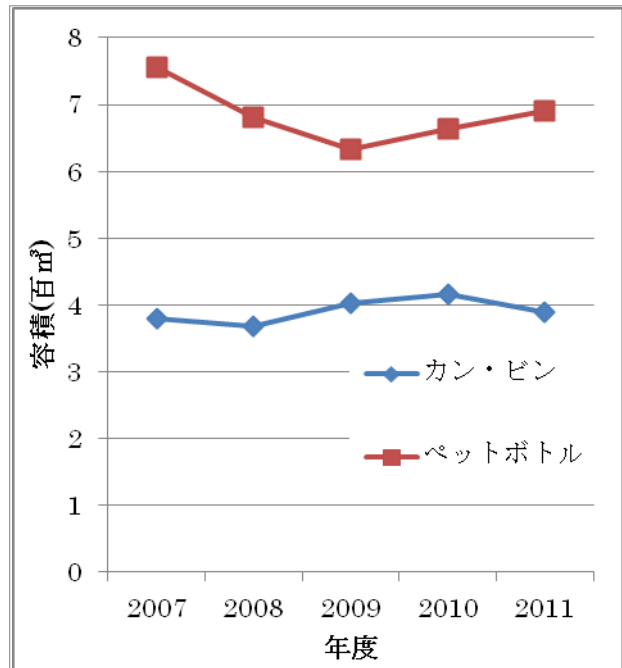
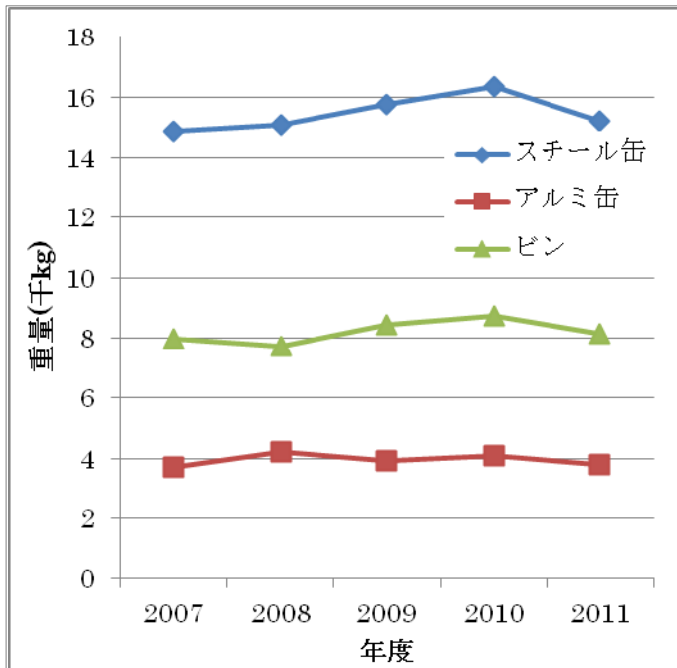
■ 食堂廃油のBDF化

食堂で使われた揚げ物用の油(植物油)はすべて回収し、BDF(Bio Diesel Fuel)の原料としています。BDFは軽油と比較して環境負荷が非常に少なく、カーボンニュートラルの特徴を持つため、環境・健康に優しいエネルギーとして注目されています。BDFは、主に札幌市の公用車(ごみ運搬車など)に利用されています。組合員からの回収も行っていますので、ぜひお持ちください。(p.19)



■ ビン・缶・ペットボトルの再資源化

札幌キャンパス内の自動販売機に備えてある空き缶入れからビン・缶・ペットボトルをリサイクル業者に回収してもらっています。回収された資源は、さまざまな形で再資源化されています。ビンはスーパーソル（人口軽石）、スチール缶は建築用の資材など、アルミ缶は飲料用のアルミ缶、ペットボトルは粉碎して繊維製品に再利用されています。



■ 産業廃棄物

食堂で使用している調味料などの廃プラスチックボトルや食材の入っていた発泡スチロール、商品購入に関わり不要になったPCや家電家具は、産業廃棄物として定期的に回収してもらっています。

店舗	会館	農学部	中央	工学部	医学部	北部	計
産廃混合(m³)	810	0	269	0	0	224	1303
廃プラ混合廃棄物(kg)	1.1	0	0	0	0	0.9	2
廃プラスチック類(m³)	4.3	0	3.45	0	0	7.5	15.25
金属くず(m³)	219	0	3	4	0	90	316
廃蛍光管(本)	43.3	0.2	3.4	6.1	0.9	5.7	59.6
廃プラスチック類・発泡スチロール(m³)	49	0	0	12	0	5	66
廃乾電池(kg)	0	0	0	2	0	0	2
ガラス、陶磁器くず(m³)	0	0	90	0	0	0	90
金属混合廃棄物(kg)	9	0	0	0	0	0	9
廃OA機器 周辺機器(台)	62	0	1	1	0	3	67
廃OA機器 ノートPC(台)	25	0	0	0	0	0	25
廃OA機器 ディスプレー(台)	5	0	1	0	0	0	6
廃電球(kg)	0	0	1	0	0	0	1

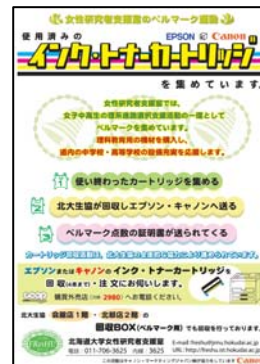
■ 使用済みトナーカートリッジ回収

北大生協では2007年9月から、使用済みインク・トナーカートリッジの回収を行っています。北大生協で集まったカートリッジは北大女性研究者支援室を通して送付しています。エプソンとキャノンはベルマークに協賛しており、送付された使用済みプリンタートナーやインクカートリッジの量に応じてベルマーク点数を付与しています。

支援室は、集まったベルマーク点数をもとに2009年春、札幌旭丘高校など4校に理科教材を寄贈しています。

		08年度	09年度	10年度	11年度
キャノン	本数	2,506	5,537	4,112	3,646
	点数	37,550	92,890	146,740	173,300
エプソン	本数	2,884	6,542	4,517	4,141
	点数	39,170	96,520	149,350	87,700
合計	本数	5,390	12,079	8,629	7,787
	点数	76,720	189,410	296,090	261,000

※学内と店舗の回収BOXで回収したもののみです



■ 国産間伐材割り箸の使用

北大生協の食堂で使用している割り箸は全て、持続可能な森林管理の行われている北海道下川町のFSC認証林から産出している間伐材で作られています。日本の森林全体の約40%を占める人工林は、間伐をしなければ丈夫な木が育たず荒廃します。間伐材とは、この過程で間伐された木材のことです。間伐材割り箸を利用することは、安定的に間伐材需要を増加させて、日本の森林の育成に協力することになります。食堂では、カーボン箸と割り箸から組合員が選択してご利用できるようになっています。

今年度は環境委員1名が下川町を訪問してきました。NPO法人森の生活による間伐体験を行い、その後下川製箸株式会社の社長さんにお話を伺ってきました。

下川製箸 Web サイト：<http://shimokawa-seihasi.co.jp>

NPO法人森の生活 Web サイト：<http://forest-life.org>



↑FSC認証は、森林の管理認証（FM認証）と加工・流通過程の管理認証（CoC認証）からなっています。



↑下川町の町有林

◇ 環境保全

■ 食堂排水の管理

各食堂には、厨房などからの排水に含まれる油脂を捕集・分解する「グリストラップ」が設置されています。グリストラップには生ごみや油脂が溜まるため、食堂では1日2回、職員が生ごみや汚泥を取り除く作業を行っています。これにより、排水中の油脂分などが直接下水道や浄化槽に流れることを防ぐことができます。

また、清掃を行っていても発生する雑菌や臭いは、オゾン分解装置によって分解し排水を浄化しています。北大生協では、クラーク・農学部・中央・医学部・工学部の各食堂にオゾン分解装置があり、毎日の清掃がきちんと行われていれば、大がかりな清掃はほとんど必要ありません（北部・ポプラではオゾン分解装置が設置されていないため、年2回ほどのグリストラップ清掃が必要です）。

年に1回、水質検査を行い、排水中の油分等の確認を行っています。



↑清掃後のグリストラップ（クラーク食堂）

■ グリーン適合商品の優先供給

平成13年4月から「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」が施行されています。北海道大学もこの法律によってグリーン購入が義務付けられているほか、国民や事業者もグリーン購入に努めることとされています。

北大生協では、カタログでグリーン購入法適合商品の表示を行っているほか、その他の商品についても環境負荷が低いものを優先的に供給するようにしています。現状において北海道大学のグリーン調達目標が達成できているため、大きな取り組みはせず、現在の表示を継続していきます。



北海道大学生協同組合
UNIV. 生協会館店1階
CO-OP TEL 011-746-6215
いつもご利用ありがとうございます。

2009年5月7日(木) 15:59 110101
NO:04-8287 担:19 菊地
☆☆もぎたて新鮮アスパラ☆☆
美味しさを産地直送でお届け!
★★5月1日～受付開始!★★
お申込は会館店1階サービスカウンターまで!!

13 @PFE-80	¥766
13 *F-367-6	¥346
合計	2点
	¥1,112
(内消費税等)	¥52
ICカード	¥1112

XXXXXXXX2595
前回カード残高 ¥1,316
今回カード利用金額 ¥1,112
カード残高 ¥204

↑商品名に「@」があるもの=適合商品
商品名に「*」があるもの=非適合商品
←文具カタログでのマーク

■ 不要自転車・放置自転車の回収とリサイクル自転車の販売

組合員からの不要自転車の引き取り、および大学構内での放置自転車の回収を行っています。2011年度は組合員から譲渡された不要自転車が147台（昨年度182台）、キャンパス内で回収した放置自転車が7部局から計564台（昨年度10部局600台）でした。北大生協で回収した放置自転車は減少していますが、協力部局数の減少に比べ台数の減少幅は小さいことや学内の利用状況から見て、自転車放置自体が大幅に改善されているとは考えにくいです。

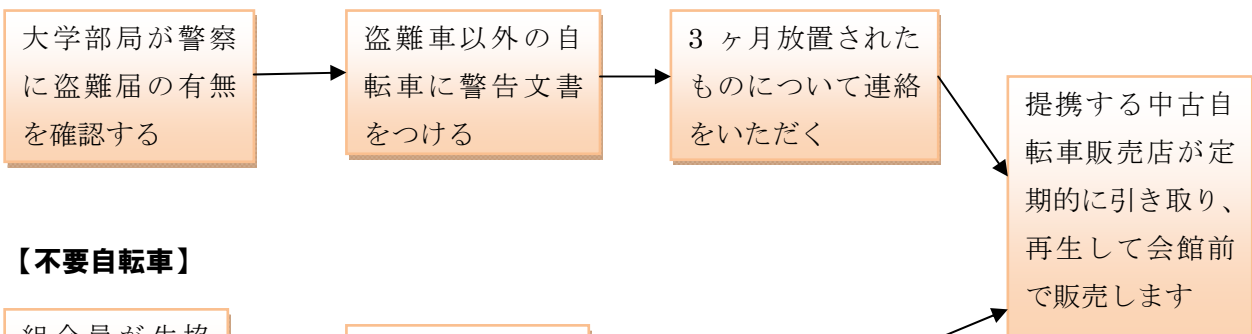
不要自転車の回収が年々減少してきていることから、今年度は放置前の不要自転車の回収を推進していくために、自転車回収についてのポスターを新しくしました。また、自転車の回収・保管手続きのやり方について改善点を見つけるために新しくアンケートも実施しています。



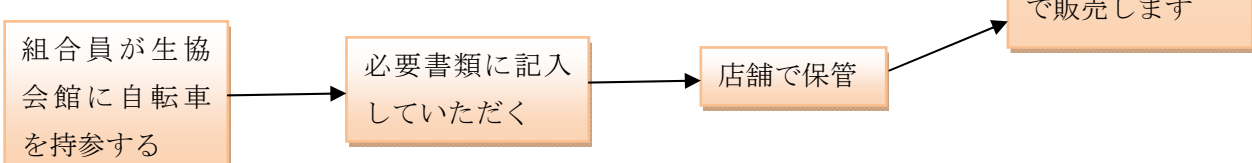
2011	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
組合員	76	16	8	6	3	7	5	3	5	8	3	7	147
図書館本館									65				65
学務部 (高等教育機構)												202	202
学務部 (クラーク会館)									71				71
環境科学院						44							44
法学部											87		87
獣医学部										28			28
生協会館前									67				67
大学計	0	0	0	0	0	44	0	0	203	28	87	202	564
合計	76	16	8	6	3	51	5	3	208	36	90	209	711

～放置自転車・不要自転車の回収の流れ～

【放置自転車】



【不要自転車】



組合員・地域の方へ

これまでの内容でもご紹介しましたとおり、北大生協で行っている環境の取り組みの中には、組合員のみなさんや地域の方々にご参加・ご協力をお願いしているものがあります。この報告書をご覧いただいたことを契機に、これらの取り組みにご協力・ご参加いただければ幸いです。

■ 資源回収を行っています

北大生協の店舗では、下記のものについて資源回収を行っております。ご家庭でご不用になりましたものがありましたら、ぜひお持ちください。

- ・不要自転車引き取り …北大生協会館1階サービスカウンター
- ・廃食用油 …生協会館1階、工学部購買、北部食堂2F、中央食堂入口
- ・牛乳パック・古新聞 …生協会館1階、工学部購買、北部食堂2F
- ・トナーカートリッジ …生協会館1階、工学部購買、北部食堂2F インクカートリッジも可

■ 組合員活動への参加をお待ちしています

北大生協では、機関誌の配布や組合員活動(組合員のみなさんと一緒に行う取り組み)を行っています。まだご存じない方には、ぜひご覧いただき、またご参加いただければと思います。

- ・参加型企画 …大学祭期間中のごみナビゲーション(学生組織委員会)
- ・機関誌 …letter(学生組織委員会)、きぼうの虹(院生・教職員委員会)
- ・生協へのご意見 …「組合員の声」投稿(各店舗の「組声BOX」、または北大生協Webページ)

■ 北大生協からの情報をご覧ください

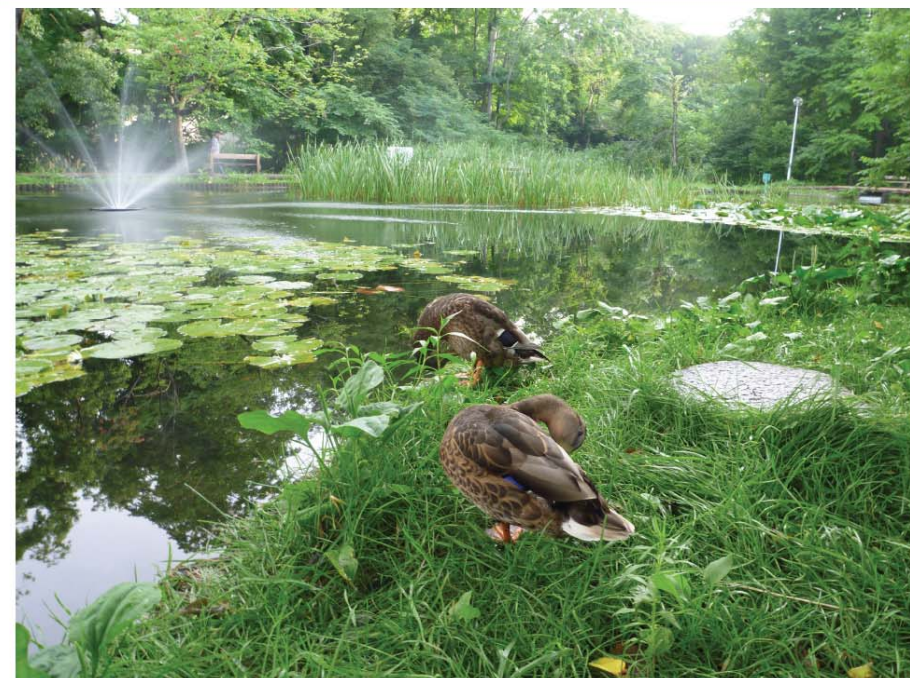
北大生協からは、最新の情報をWebサイト等でご紹介しています。また、過去の環境報告書や「組合員の声」などの情報もご覧いただくことができます。学生委員会のWebページでは、ごみナビゲーションの詳しい情報なども載っておりますので、ぜひご覧ください。ご質問等ございましたらお気軽に、メールまたはお電話にてお寄せください。

- ・北大生協Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/>
「環境活動」リンク <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/soumu/kankyoku/>
- ・北大生協学生委員会Webサイト <http://hokudaigi.web.fc2.com/>
- ・北大生協学生委員会ブログ <http://hokudaigi.blog119.fc2.com/>
- ・北大生協院生委員会Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/~insei/>
- ・北大生協留学生委員会Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/isc/index.html>

ここまで「2011年度 北大生協環境報告書」をご覧いただき、ありがとうございました。

これまでのページでご紹介してきた取り組み・データは、いずれもまだまだ改善の余地があるものばかりです。ぜひ、組合員のみなさん、地域の方々のご協力とご指導を賜りながら、改善を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも北大生協へのご支援をお願いいたします。

北大生協2011年度環境課題推進委員会 委員一同



発行：北海道大学生協同組合

編集：北大生協理事会

北大生協環境課題推進委員会

〒060-0808

札幌市北区北8条西7丁目

☎ 011-746-6218

E-mail : seikyou@coop.hokudai.ac.jp